

## 🎁 まちの声&プレゼント

本紙への感想、身の回りであった出来事や日常生活で感じたことなどをお寄せください。お便りをくれた人の中から、パンジャブより好きなカレーを6人にプレゼントします。

- 応募締め切り 2月15日(金)当日消印有効  
※当選者の発表は10日前後で、引換券の発送をもってかえさせていただきます
- 紹介・回答 お便りは個人を特定できる情報を削除し、要約して広報紙でご紹介させていただく場合があります。また個別の回答は行っていません
- 応募・問い合わせ ハガキかメールに住所・氏名・性別・年齢・電話番号・まちの声を明記して〒375-8601(住所不要)市役所秘書課広報広聴係「まちの声」応募係・✉hisyo@city.fujioka.gunma.jpへ

プレゼントの提供者を募集しています。  
秘書課広報広聴係☎2208までご連絡ください。



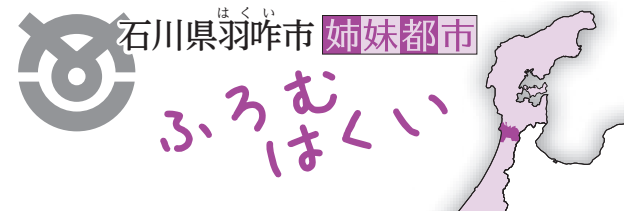
### 好きなカレー 1人前(単品)

数種類のスパイスやハーブを組み合わせた本格インドカレー。

インド人シェフが作る本格インド料理店。女子会プランもご用意しています。またテイクアウトも可能ですので自宅などでお気軽にお召し上がりいただけます。

### 本格インド料理 PUNJAB

- \*住所 藤岡市中栗須467-3
- \*電話番号 ☎027-1350
- \*営業時間 午前11時～午後3時、午後5時～午後11時
- \*定休日 月曜日



↑ウォールアートで宇宙人サンダーくんを描く羽咋工業高校の生徒

## 羽咋駅構内に5作品目のウォールアート テーマは神子原棚田とサンダーくん

12月13日、羽咋駅構内の壁面にウォールアートが完成しました。このウォールアートは、観光客へのPRを目的に羽咋工業高校の生徒が毎年制作しており、同駅では5作品目となります。

壁画は、高さ1.6m・横3m。収穫時期を迎え、黄金色に輝く神子原地区の棚田で、羽咋市の観光アテンダント「宇宙人サンダーくん」が稲刈りする様子を表しています。2日にわたって壁画を描いた生徒は、「羽咋の魅力である、神子原の棚田と宇宙人サンダーくんを広く発信できれば」と、その出来栄えに笑顔を見せてくれました。

藤岡市の皆さんも、羽咋駅を訪れた際は、ぜひ、ウォールアート作品をご覧ください。

昨年、第2子を出産して現在、育児中です。この機会に藤岡市のグルメを心置きなく堪能しようという計画です。働いているときには行けないような平日ランチを検索して「いつ行こうか」とウキウキ

山間部など目標物が少ない場所においても効果が期待されるシステムです。多くの人にこのシステムを知ってもらい、有効に活用してもらえたいことを願っています。

1月1日号の広報に、119番通報時に電柱番号から位置を知らせられるというのが載っていました。うちでも何度か119番をしましたが、家分りぐらう大変でした。今度何かあった時には電柱を使用しようと思います。(40代・女性)

**まちの声**

みなさんからの声を紹介します  
※プレゼント当選結果とは関係ありません

このほか7通のお便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上要約させていただくことがありますのでご了承ください。

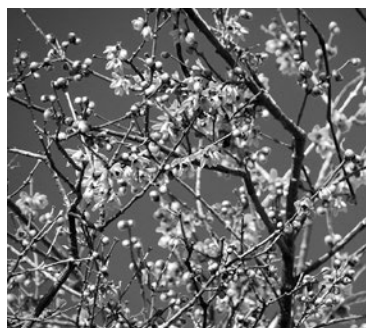
ジュニアマラソン大会お疲れさまでした。本号10ページでも大会の様子をお知らせしています。ぜひ来年は納得のいく結果が出せると良いですね。

ジュニアマラソン大会に甥っ子が初出場したので、応援に行ってきました。勢いよくスタートし最後まで懸命に走る姿を見て成長を感じ、ウルッときました。本人は結果に納得できず悔しかったようですが、よく頑張ったね!(20代・女性)

市では群馬医療福祉大学との連携事業で大学生が選んだおすすめの飲食店やお土産などの情報を発信しています。インスタグラム・フェイスブックで「ふじおか地域・大学連携」と検索し、参考にしてみてください。

## 耳より情報

### 桜山公園 ロウバイが見ごろ



冬桜の名所である桜山公園では、黄色い花を付けたロウバイが見ごろを迎えています。

第2駐車場周辺の日当たりの良い南側斜面に約150本のロウバイが植えられ、太陽の日差しに輝く花びらと甘い香りが漂います。

ロウバイは2月上旬まで楽しめますので、ロウバイの良い香りにときめながら公園内を散策し、春の兆しを感じてみませんか。  
問い合わせ にぎわい観光課 ☎23311

**ふじおか Culture**  
～藤岡の文化を探る～ No.35

ひな 雛祭りには何を食べますか  
～ 藤岡の雛祭り～

お問い合わせ 文化財保護課(☎23 5997)

雛祭りには何を供え、何を食べますか。昨季の広告では手巻きずし、ちらしずし、ハマグリのお吸い物、ひし餅、ひなあられなどが目に付きましたが、全国同じというのではなく、本来年中行事の食は地域色が濃いものです。昭和60年ごろの市内調査では、巻きずし(ごぼう、にんじん、かんぴょう、でんぶなどの中太巻き)、いなりずし、また供え物として、ひなあられ、白酒(甘酒)などが、昭和51年発行の「多野藤岡地方誌」には、3色のひし餅、すし、頭付の魚、白酒、あられ、ひな菓子、煮しめなどが挙がっています。昭和2年刊行の「群馬縣多野郡誌」でも、ひし餅、白酒、すしなどを供えたとあります。

思えば雛祭りケーキもなじみでした。近年は情報・流通事情の変化が手伝ってか、地域色の後退を伴う行事と食の変化が著しいよう



市内小野地区の雛飾り